

# 市政に対する

# 一般質問

今定例会では、12人の議員が12月1日、4日、5日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

**一般質問**とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

## 小林英雄議員

- 市の税収と地方交付税について
- 本庁舎について

## 坂本達夫議員

- 大中落流域水路整備工事の進捗状況について
- 行政財産使用料（自動販売機設置）について
- 幸手駅西口の開発について
- 幸手中央地区産業団地の拡張について

## 芦葉弘志議員

- ハッピー・スマイ(米)ル推進事業の追加支援策について
- 今後の幸手市活性化のための事業展開について
- 市民を守る健康事業について

## 宮澤大地議員

- 幸手市の選挙に対する取り組み
- 幸手市の道路上電柱について

## 高野優一議員

- 市長公約政策について

## 本田謡子議員

- 第4弾 幸手市ハッピーエール券について
- 本年10月の市長選における選挙管理委員会について
- 幸手市防災訓練について
- 幸手市関連の行事における市議会議員のかかわり方について
- 木村市長の選挙公約のひとつである報酬3割カットについて
- 令和5年度幸手市文化祭について

## 小泉圭司議員

- 幸手市の交通手段の確保について
- 幸手市立小・中学校適正規模・適正配置等に関する基本方針について
- 実用英語技能検定（英検）取得支援事業について
- 幸手IC近くの産業団地にある遊水地について

## 松田雅代議員

- 2期目木村市政の運営方針について
- 幸手市観光協会の法人格取得について
- 幸手市宮釣り場神扇池指定管理者募集について

## 大平泰二議員

- 駅西口土地区画整理事業
- 監査委員の選任及び農地法違反について
- 市民生活応援施策について 地方創生臨時交付金「重点支援地方交付金」の増額について

## 青木章議員

- 中学校の制服について
- 天神の湯等の対応について
- 市長公約について

## 木村治夫議員

- 農業振興について
- 防災行政無線の音楽について
- 観光の振興について
- 商工業の活性化支援について

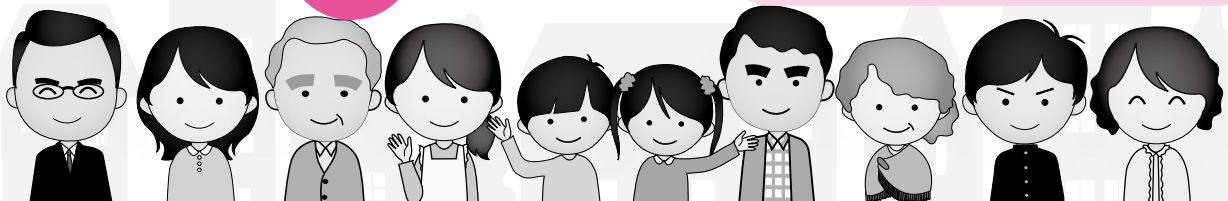
## 四本奈緒美議員

- 幸手市小中学校の今後の在り方について
- 高齢者や障がいのある方の為の投票・投票所における支援について
- 新機能自販機リサイクルボックスの公共施設への設置について

あなたの **声** を市政に

3月定例会  
のお知らせ

詳しくはホームページを  
ご覧ください。



幸手市は1人45分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりではスペースの都合上、質疑と答弁が要約してありますので臨場感ある、本会議場での傍聴をお待ちしています。

## 耐震強度不足の本庁舎・危険性は



小林英雄議員

**Q** 市民、職員の人命を守るため、耐震強度不足により、倒壊する恐れのある、本庁舎の使用を早急にやめるべきと考える。同様の質問をしてから1年半経過したが、今だに無対策の状態が見られる。建て替えの方向にあるようだが、財政状況を踏まえ、現実的に実現可能な、既存の公共施設の利活用も

検討すべきである。まずは、一時的にでも既存の公共施設への機能移行を行い、本庁舎使用をやめるべきと考える。また、市民にも本庁舎の危険性を伝えるべきとも考えるが見解を伺う。

確保することは困難であるが、現庁舎の使用継続が危機管理上好ましくないことは認識している。市庁舎整備事業はスピード感を持って遂行していく。

**A** 市庁舎の建替えを基本に据えつつも、今後は既存公共施設の利活用についても検証していく。

なお、庁舎の危険性については、周知方法いかんでは利用者の不安を増幅させることにもなりかねず、その方法については慎重に判断してまいりたい。

(市長)

## 大中落流域水路整備工事の進捗は



坂本達夫議員

**Q** 中5丁目、牛村橋付近の水害は、大雨が降った時、北側用水路方面から流れてくる2本の水路が、大中落付近で1本に集約されることにより発生する。1本では流し切れないう水が溢れ、洪水となって現れる。

市はこれまでに、牛村橋付近の水路に排水ポンプを設置した

が、それでも処理できず、今回、その下流に1本の水路を増設することにしました。

ところが、今年度実施の水路整備工事が進んでいない。この工事の進まない理由と今後の方針を伺う。

**A** 既存水路の負担を軽減させるため、令和5年度に工事費の予算計上をしたところである。

しかしながら、水路を新設す

るにあたり、既設の地下埋設物であるN・T・Tケーブル、ガス管、水道管が支障となり、各埋設物の移設に多額の費用、時間がかかることが判明したことから、令和5年度の施工は難しい状況であると考えている。

今後については、他の方法も含め検討し、まずは早急に行える事から取りかかり、引き続き道路冠水の軽減に努めていく。

(市長・建設経済部長)

今後の幸手市活性化のための事業展開



芦葉弘志議員

**Q** 市長選挙中に配布された、討議資料に「国道4号バイパスに総合複合施設を誘致地域活性化の核、国道4号バイパスと惣新田幸手線バイパスの交差する周辺に、総合複合施設の構想を練ってまいります。」とある。この総合複合施設とはどのようなものか市長に伺う。国道4号線バイパス道の駅構想

は現実的に土地の条件や予算的に実現可能なのか伺う。道の駅建設の際はスポーツ施設も併設を希望する市民の要望があるが、若者を呼び込む施策として市の考えを伺う。

現時点では決まっていない。今後の構想や基本計画等の策定の中で、整備手法と併せて予算的な実現可能性を整理して参りたいと考えている。

**A** 総合複合施設については、道の駅を核とし、農業資産との連携を図り、6次産業の導入も視野に入れた施設を想定している。

道の駅の実現に向けて、スポーツ施設の併設も含め、市民の意見も伺いながら構想策定を進めていく。

(市長・建設経済部長)

幸手市の選挙に対する取り組み



宮澤大地議員

**Q** 全国的に選挙の投票率が落ち込む中、幸手市では本年、幸手市議会議員一般選挙と幸手市長選挙が実施されました。

どちらの選挙も前回実施時よりも低い投票率となりました。特に街のトップを決める幸手市長選挙の投票率が落ち込んだ事実は、幸手市民の市政に対する

関心度の低さに直結しています。幸手市の投票率向上に対する取り組みを伺います。

**A** 選挙時の周知啓発活動として、選挙の情報を市ホームページに掲載、選挙のお知らせのチラシや選挙公報を新聞折込や公共施設に配置する等実施してきました。日ごろからの周知啓発活動として、公益財団法人明るい選挙推進協会が主

催する明るい選挙啓発ポスターコンクール市の表彰・入選作品の展示等の実施、投票しやすい環境として、期日前投票所をマルエツ幸手上高野店、幸手駅東西自由通路に設置しています。これらの活動を継続し投票率向上に取り組んでまいります。

(選挙管理委員会書記長)

市長公約実現に向けて



高野優一議員

**Q** 市長表明において、「動かなければ変わらない、変わらないければ発展はない。各施策・事業を確実に進めて行く」と力強く述べられました。市長公約では小中学校の再編、18歳未満の医療費無償化、小中学校の給食費の無償化、コストコ等の大規模ショッピング施設の誘致、道の駅を中心とした複合施設

の整備、循環バスのルート見直しと公共交通の利便性向上について挙げられているが、これらの早期実現に向けて具体的な計画時期を伺う。

**A** 市長公約は、市の発展のためには大事なものであり、全力を挙げて取り組む。小中学校の再編は、令和9年4月1日を目途に、18歳までの医療費無償化は令和6年秋を目途に、実現を目指す。小中学校の

給食費無償化は、全力で早期実現を目指す。コストコ等の誘致、道の駅を中心とした複合施設の整備は、市発展の一助となるため、総力を挙げて進める。乗合型デマンドタクシーの実証運行を令和6年7月に開始するほか、公共交通の利便性向上に向けて見直しを行う。

(市長)

幸手市文化祭の問題点と対策は



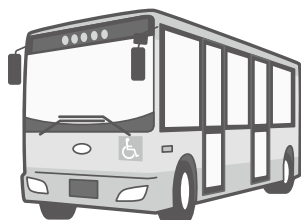
本田謡子議員

**Q** 高齢者になると文化祭への参加者も来場者も「交通手段」が難しくなる。今回の文化祭でも、日曜日は循環バスさえ使えない。そして来場者の減少。そこで、「交通手段」は市民まつりのようにバスの運行を、「来場者減少」については、高齢者及び介護施設等への来場の呼びかけも必要と考える

**A** 幸手市文化祭については、毎年の課題ではあるが、来場者が少ないことがあげられる。多くの人に来てもらえるよう市民の皆様、高齢者や介護施設等に対して、PRを充実させ参加を呼びかけていきたい。

また、交通手段の確保として土曜日に運行している市内循環バスを有効に活用していただければ、市の考えを伺う。

(教育部長)



小・中学校適正配置規模・適正配置について



小泉圭司議員

**Q**

小中一貫校ありきという形だけでは無くいろいろな手法を充分に検討していただきたい。八潮市では3つの小中学校が小中合同運動会や、合同修学旅行、林間学校を実施、小中合同での体験学習を行い小中一貫教育であるものの建物はそのまま交流活動を充実することで少人数のデメリットをカバー

**A**

基本方針策定の際は、子どもたちにとってより良い教育環境を提供するために、小・中学校がどうあるべきかを主眼に教育審議会等で議論がなされた。

(教育部長)



松田雅代議員

幸手市観光協会は早期法人格取得を

**Q**

幸手市観光協会の社団法人化が一年以上前から検討の俎上にあるものの、なかなか議論が進んでいないように見受ける。観光協会を民間に移すことでどんな効果を期待するのか。行政ではできない「利益を上げるような活性化事業」の担い手として早期に法人格取得を進

**A**

現時点では、観光協会予算には「法人化事業」として予算を計上しているが、法人化に向けての手続きは行っていない。法人化した場合の職員の雇用

(建設経済部長)

議論の中で、「学校の在り方に関するアンケート」を実施し、保護者、児童・生徒、地域の方等から広く御意見を頂戴した。児童生徒数が減少している中、県内を見ても学校再編の流れは避けられないと考えており、今後は説明会を開催するなど、地域の皆様の声も伺いながら進めていく。

や人員配置、人件費の捻出、観光協会を運営する担い手等の課題がある。また、「桜まつり」では、市が事務局を担っていることで県や関係機関との調整が円滑に行えるという利点がある。

今後も引き続き、市の観光振興にとって、観光協会の最も良い在り方について検討を図る。

駅西口土地区画整理事業



大平泰二議員

**Q**

移転補償262戸に対し、現在移転終了は53戸。残り209戸に対する移転年次計画を伺う。工期を令和12（又は18）年としていることの信憑性について。また、「1000年事業」「予算108億円以上」と言われ始めた事に対しての市長見解を伺う。

**A**

移転年次計画については、仮換地引渡しの見通しが付く地権者の方と移転時期の相談を行いながら予算の範囲内で件数を調整しているため作成していない。工期については、事業計画において換地処分の日を令和12年度末、清算期間を含めた事業完了日を令和17年度末としている。幸手駅西口地区については、防災面、交通面で課題を抱えており良好な市街地を形成する必要があるため、財政

状況を鑑みながら事業を進めていく必要があると考えている。

（市長）



コストコ誘致等市長公約について



青木 章議員

**Q**

木村市長は、過去4年間で吉田幼稚園の廃止見直しを反故にしました。四季駅および調整池設置は、出来ないまま。小中学校の体育館エアコン設置は、先が見えませんか。そんな中、市長はこの度の選挙で、私が当選すればコストコは、幸手市に来ます。負ければコストコは来ません。と発言しました。

**A**

発言の真意を伺います。また、コストコ誘致に向けて、庁内会議を行なったのか。いつ頃どこに出店の可能性があるのか併せて伺います。

で誘致はないと考えています。誘致に向けた庁内会議は実施していませんが、担当部署が資料を作成して本社に持参し、協議を行いました。未来志向のまちづくりにもコストコ等の誘致は大事な事業であり、是非、実現させたく、議員の皆様の支援をお願いします。

（市長）

公約は、任期4年での実現がベストですが、実現に向けた道筋をつけることも大事であり、一歩ずつ進めていきます。その中で、コストコの誘致について、私の人脈により交渉を始めたことから、私以外

千塚地区農用地編入に伴う振興対策は



木村治夫議員

**Q** 地域農業振興については、農業生産基盤整備・優良農地保全、農業経営強化・担い手の育成支援、幸手産農産物の消費拡大と高付加価値化への支援、農業を通じた市民交流を活性化するなど多岐に渡る施策である。

千塚地区農用地編入事務が行われているが、今後について

伺う。(1)農用地編入手続き後、千塚地区基盤整備事業の具体的な進行工程について伺う。編入に伴い、市として農地利用の付加価値額があると考えられるが伺う。編入後の市として展望は。

**A** 千塚地区農用地編入については、今年度中の編入を目指している。農用地区域編入後においては、地権者及び農業者と協議しながら、地域の意向に沿った農業基盤整備事業

を選定していく。また、農用地区域編入によって、効率的で大規模な農業が可能となり、高品質の農作物を安定的に生産できるようになるため、付加価値が高まり、将来的に、経営拡大意向の農業者の農地拡大、新たな担い手の定着につながるものと考えている。  
(建設経済部参事)

新機能リサイクルボックスの設置と環境問題



四本奈緒美議員

**Q** 自動販売機横に設置するリサイクルボックスが新たに開発され、ペットボトルの回収率、リサイクル率が格段にアップしCO2削減に貢献している。新機能リサイクルボックスの本市での設置の考えを伺う。

木村市長2期目のスタートにあたり、SDGsの理念の下、

2050年までに温室効果ガスの排出量実質0を目指す「ゼロカーボンシテイ宣言」を行い、環境問題に積極的に取り組む本市の姿勢を、更に明らかにしていくべきと考えるが、市長の考えを伺う。

**A** 市内公共施設に設置されている自動販売機について、事業者から行政財産使用許可申請書が出され、許可を

している。

このため、リサイクルボックスについても、事業者が設置・管理をしている。今後、事業者から設置申請があった際には、新機能自動販売機リサイクルボックスの設置を要望していく。また、ゼロカーボンシテイ宣言については、担当部局に指示し前向きに検討していく。  
(市長・市民生活部長)